

1年間の成果を胸に

平成24年度第43期寿大学閉講式

第43期寿大学閉講式が1月28日、小野町勤労青少年ホームで行われました。

寿大学は公民館高齢者教育事業として、高齢者の生涯学習を目的に開設され、今回で43期目を数えます。今年度は209人の学生が書道、編み物、グラウンド・ゴルフなど8つのクラブに分かれ、年間8回の活動のほか、秋の現場学習などを行いました。

閉講式では、学長である町長から修了生代表の吉田照明寿大学運営委員会副委員長に修了証書が手渡されました。

町長は「仲間と協力し合い喜びを作り上げる、みんなの学びの場であり、本大学での活動が皆さんの生きがいにつながっていくことは、学長として大変うれしく思います」とあいさつしました。

修了生を代表し、林武智運営委員長が「仲間と共に有意義な学生生活を送ることができました。この大学で得たことを生かして地域社会に貢献していきたいです」と謝辞を述べ、閉講式を終了しました。

引き続き、教養講座を実施し、未来企画創造学舎主宰・赤間利晴さんを講師に迎え「『生きがい・やりがい探し』の旅…人生を楽しく豊かにする旅に出掛けませんか!!」と題して講演を行いました。赤間先生は、生きがいづくりについて、自らの体験談をもとに、生きがいづくりのヒントは、日常生活の多くに存在していること、視野を広め多くのことに関心を持つ大切さなどをお話しされました。学生たちは真剣な表情で話に聞き入っていました。



学長から修了証書を受ける吉田照明副委員長(左)



こまちレンジャーと一緒に鬼退治

小野町商工会青年部が幼児施設を訪問

2月1日に町内の幼児施設で行われた豆まきに、こまちレンジャーと鬼がやってきました。

これは小野町商工会青年部のご協力によるもので、鬼のお面を着けた子どもたちはこまちレンジャーに自分の中の「好き嫌い鬼」や「泣き虫鬼」などを退治してもらいました。その後、本物の鬼が登場し、子どもたちはこまちレンジャーと一緒に鬼を退治しました。

夏まつりでおなじみのヒーローの登場に子どもたちは大興奮で、いつもと違った豆まきを楽しむことができました。

このたびの小野町商工会青年部のご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。